

2. アンテナを張れば多文化共生の手がかりはたくさん見つかる！(食品編)^{しょくひんへん}

3章で見たように、多文化共生が進むと今まで買えなかった食材が買えるようになり、食べられなかったものをお店で食べられるようになります。同時に、人には文化や宗教によって食べられないものがあります。そのため、買い物をする時に食品をよく見て、食べられないものが入っていないか、確認できる表示が必要です。

最近日本の食品メーカーやお店などが、アレルギーのある人のためだけでなく、多文化共生のことも考えて新しい表示を考えています。文字で書くと日本語が母語ではない人にとって分かりにくいので、ピクトグラムを使うことが増えています。

コンビニの商品などで見られる食料品の原材料を示すピクトグラム。^{げんざいりょう}
ピア、よーよー、ガー、ラクシャがそれぞれ食べられるものに線を引きましょう！

豆知識(5)

ゼラチンの原料には、豚や牛、魚などの動物の骨や皮が使用されています。



豚肉



牛肉



鶏肉



たまご



牛乳



エビ



お酒



ゼラチン

例

ピア



私はムスリムです。豚肉は食べられないし、お酒も飲めないから、例えばみりんが入っている日本料理が食べられない

ガー



私は健康のためにビーガン生活をしている。ビーガンとは、動物由来のものを一切食べない人だよ

よーよ



僕、実は牛乳アレルギーだよ。牛乳やその成分が入っているものは、食べられない

ラクシ



私の家族はヒンドゥ教です。ヒンドゥ教では牛さんは神様に近いので、牛肉は食べない

豆知識(6)

アジア食品店などで買い物をすれば、このマークを見ることがあるかもしれません。これは「ハラールマーク」と言い、ムスリムが食べられるものを示しています。「ハラール」とは、ムスリムの聖典コーランによる「合法」という意味です。もちろん、ハラールの食品はムスリムではない人も食べられます！



豆知識(7)

ピクトグラムとは、言葉を使わずに情報や注意を示す記号のことをいいます。特に日本語が母語ではない人にとって、見たらすぐに意味を理解できるので、多文化共生社会にはとても役に立ちます。

次のピクトグラムは、どんな意味があるかな？



3. 大須商店街を探検しよう

大須商店街の東西にある二つの大きなお寺である「万松寺」と「大須観音」はどちらも1600年代の初めに大須に建てられました。また、名古屋城と熱田神宮を繋ぐ「本通り」も商店街の真ん中を通り抜けることから、1600年代からこの地域はさまざまな人が集まる場所として、そしてさまざまなものが売られている場所としてよく知られていました。

現在の大須商店街には、多くの外国人が日本人と肩を並べてお店を経営しています。商店街のイベントや地域の伝統行事も、みんなで話し合っ^て企画して、運営を支えており、様々な国々の文化やファッション、グルメに触れることができます。



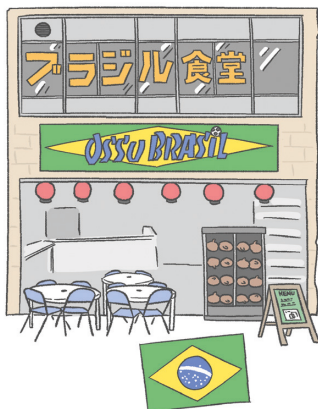
うわー、どうしよう！
ベトナムのフォーも食べたいし、沖縄そばも食べたい…。
迷っちゃうよ！



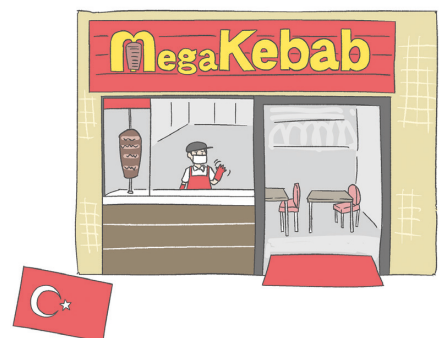
ハロハロはフィリピンのスイーツだよ。フルーツやアイス、ナッツや小豆など、自分の好きなものを入れて組み立てるパフェみたいな感じ。ウエイブのトッピングはおすすめ！



ケバブ店に行ってみて！
メニューの中に、ハラールマークが見つかるよ！



ブラジル風の丸焼きチキンをその場で焼いているお店もあるよ。お店の前に行くとなんとも言えない良い香りがするよ！



4. チャレンジ：自分の地元^{じもと}で、多文化共生の手がかりを探そう！

住んでいる地域、あるいは近くに、次のものを見つけられるかな？絵を描いたり、見つけたものに関する情報^{じょうほう}を自分の言葉でまとめたりしましょう。（例えば、どこで見つけましたか？どんな意味がありますか？）

多言語案内 ^{どうごひょうしき} （道路標識など）	多言語ごみの出し方情報	その他多言語情報
<p>外国人が経営している飲食店 （どの国の人？*）</p> <p>^{ていねい} *丁寧に聞きましょう</p>	<p>外国人が教えている語学教室</p>	<p>コンビニなどの店員さん （どの国の人？*）</p> <p>*丁寧に聞きましょう</p>
<p>外国の食品店</p>	<p>ハラルマーク</p>	<p>食品の材料に関する表示</p>